

2024年度前期

# 提出書類作成 手引き

日本学生支援機構奨学金

---

在学採用学部生用

全員

# 奨学金提出チェックリスト

※受付日(大学記入欄)

奨学金提出書類チェックリスト  
(日本学生支援機構奨学金「在学採用」手続き【学部】)

学籍番号: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_  
所 属: \_\_\_\_\_ 携帯電話番号: \_\_\_\_\_

給付奨学金と貸与奨学金の併用を申請する者…【共通】+【給付奨学金】+【貸与奨学金】を提出  
 給付奨学金のみを申請する者…【共通】+【給付奨学金】を提出  
 貸与奨学金のみを申請する者…【共通】+【貸与奨学金】を提出

【共通】	
<input type="checkbox"/>	奨学金提出書類チェックリスト このリストをもとに書類をチェックし、他の書類と一緒に提出
<input type="checkbox"/>	日本学生支援機構奨学金申込者票
<input type="checkbox"/>	スカラネット下書き用紙 入力前にスカラネット下書き用紙に記入。 ※給付と貸与の併用申請者は給付用を使用する通帳のコピーを貼付する。
<input type="checkbox"/>	出身高校の調査書 または 高等学校卒業程度認定試験合格を証明する書類 学部1年生のみ提出 調査書は高校卒業後に発行されたもの。 成績証明書不可
<input type="checkbox"/>	編入学前の学校の成績証明書 編入学生のみ
<input type="checkbox"/>	在留資格・在留期間が明記されている証明書 外国籍の者 ・在留カード(裏表面コピー)、特別永住者証明書(コピー)、住民票の写し(原本)のいずれか1点を提出
<input type="checkbox"/>	「施設等在籍証明書」等 申請者本人が社会的養護を必要とする人である者のみ
【給付奨学金】	
<input type="checkbox"/>	給付奨学金確認書
<input type="checkbox"/>	大学等への修学支援の措置に係る学修計画書
【貸与奨学金】	
<input type="checkbox"/>	確認書兼個人情報の取扱いに関する同意書
【全員】	
<input type="checkbox"/>	スカラネット(インターネット)入力しました

必要書類をすべて整えて、期限までに提出すること。  
 ※郵送する場合は、郵便記録が残る方法(簡易書留・レターパック等)で送付すること。

2024

全員記入

書類を提出する前にチェックリストで確認してください。  
記入漏れや不備がある場合は受付しません。

全員記入

該当者のみ提出する書類については該当欄にチェック

給付奨学金を申請する者

貸与奨学金を申請する者

スカラネットを入力し、スカラネット入力下書き用紙に受付番号を記入

全員

# 日本学生支援機構奨学金申込者票

## 日本学生支援機構奨学金申込者票【学部】

申込日 (西暦) 年 月 日  
学部・学科名 学部 学科 年次  
申込者氏名 学生番号  
連絡先(携帯) (自宅電話)  
※申請書類の不備等または聞き取りが必要な場合、大学から電話をかけることがあります

次のうち、希望する奨学金にチェックしてください。  
 給付奨学金  
 貸与奨学金

貸与奨学金を希望する場合は、次の中から希望する申込区分番号に○を付けてください。  
※スカラネットで申請した申込情報となります。

- (a)「第一種」又は「第二種」のどちらかを希望する者
1. 「第一種」のみ希望します。
  2. 「第一種」を希望するが、不採用の場合「第二種」を希望します。
  3. 「第二種」のみ希望します。
- (b)併用貸与を希望する者
4. 「第一種」及び「第二種」との併用貸与を希望します。
  5. 併用貸与を希望するが、不採用の場合「第一種」のみ希望します。
  6. 併用貸与不採用及び「第一種」不採用の場合、「第二種」を希望します。
  7. 併用貸与不採用の場合、「第二種」のみ希望します。
- (c)現在奨学金の貸与を受けている者
8. 「第二種」の貸与を受けていますが、「第一種」への変更を希望します。
  9. 「第一種」の貸与を受けていますが、「第二種」への変更を希望します。
  10. 「第一種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
  11. 「第二種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
  13. 「第一種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。  
併用貸与不採用の場合、「第二種」への変更を希望します。
  14. 「第二種」の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。  
併用貸与不採用の場合、「第一種」への変更を希望します。
- (d)編入学した大学から「編入学奨学金継続」の認定を受けた者(学部生のみ)
12. 大学編入学後は「第二種」を希望します。

上記 8～14 を選択した者は、現在貸与中の奨学生番号を記入してください。  
奨学生番号

貸与奨学金希望者で、以下の項目のいずれかに該当する方はチェックを付けてください。  
貸与奨学金の家計基準が緩和される場合があります。(学部生・専攻科生のみ)

- 長期に療養を要する人がいる世帯に属する者  
 障害がある人及び障害がある人がいる世帯に属する者  
 原子爆弾によって被爆した人の子女

## 《記入のポイント》

全員記入

申請する奨学金をチェック  
給付も貸与も申請する場合は両方にチェック

貸与奨学金を希望する者のみ回答  
希望する申込区分番号に○を付ける  
必ずスカラネット入力で申請した情報と一致させる

貸与奨学金を希望する者のうち、該当する場合はチェック  
該当がない場合は回答不要

# 貸与

# 給付貸与 両方

# 確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書

コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。

提出用

## (貸与奨学金)確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書

(大学・短期大学・専修学校専門課程)

(西暦) 年 月 日

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）の奨学金の貸与を受けるにあたり、インターネットによる奨学金の申込の内容及び奨学金案内に記載内容及び以下に記載の貸与申込の条件、個人情報情報の取扱いに関する各同意事項、機構の強硬措置並びに裏面記載事項について、確認し、同意の上、返還することを確認し、本確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書を提出します。また、第一種奨学金と併せて給付奨学金もしくは大学等における修学の支援助に関する法律第八十条第一項の規定による授業料減免を受けているときは、関係法令等に基づき当該第一種奨学金の貸与額が増額又は減額（複数あるときは機構の定める額）に変更されることがあることに同意します。さらに機構に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が利用することに同意します。機関保証を受ける場合は、保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）に支払うべき保証料は、機構が奨学金の交付の際にあらかじめ貸与金額から差し引いて支払うこととしてください。

**\*必ず各自が記入してください。**

学 校 名	学 部・課程・分 科	学 科・専攻・研 究 科	学 籍(学生証)番号
学 校 の 種 別	大 学(学部)・大 学 院・短 期 大 学 専 修 学 校 学 校・専 修 学 校 専 門 課 程	〒 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	電 話 番 号 ( 宅 内 ) ( 機 関 )
人 員 名 冊	姓 名	生 年 月 日	性 別 ( 任 意 ) 男 ・ 女
関 係 状 況 ( 在 籍 資 格 )	a 日 本 国 籍    b 法 定 特 別 永 住 者    c 永 住 者    d 定 住 者 ( 永 住 者 要 がある 者 に 限 る )    e 日 本 人 の 配 偶 者 等	在 籍 期 間 ( 年 月 日 )	
【 記 入 枠 〇 の 中 】	f 永 住 者 の 配 偶 者 等    * d ~ f の 記 入 者 は 在 籍 期 間 ( 在 籍 期 間 の 満 了 日 ) を 記 入 (    年 月 )		

※ 籍地が異なる、申込者本人（未成年（18歳未満）の場合は、親権者）のある書き込みが必要です。書き込みについては学校へお問い合わせください。

【個人情報情報の取扱いに関する同意事項】 機構は、個人情報情報への取扱い及び利用は、確認した場合のみ行います。

1. 個人使用情報の利用（確認）  
私は、奨学金の貸与が決定した後は、下記の個人情報（そのほかを含む）が機構が加盟する個人使用情報機関に登録され、同機関及び同機関と連携する個人使用情報機関の加盟会社によって、自己の申込取り消しの申請（返還能力又は返還の確実性を示す）を行うこと、返還能力に関する情報については返還能力の確実性の目的に限る）のために利用されることに同意します。また、私は、返還した後は、機構が加盟する個人使用情報機関及び同機関と連携する個人使用情報機関に私の個人情報（当該個人機関の加盟会社によって登録される契約内容、返還状況等の情報は、当該個人機関の加盟会社によって登録される契約内容、返還状況等の情報は、当該個人機関の加盟会社によって登録される契約内容）が登録されていること、個人使用情報機関、加盟会社との間で、個人使用情報機関に登録されている個人情報の取扱いに関する同意事項を承諾し、その情報が個人使用情報機関に登録されることに同意します。

2. 私は、自己の個人情報、その他の個人情報、そのほかを含む、個人使用情報機関による加盟会社に対する返還状況のモニタリング等、個人使用情報の取扱いと連立した利用の確保のために個人使用情報機関に登録されている個人情報の取扱いに同意し、その取扱いに同意する。個人使用情報機関に登録されている個人情報の取扱いに関する同意事項を承諾し、その情報が個人使用情報機関に登録されることに同意します。

3. 個人使用情報機関に登録されている個人使用情報機関は以下のとおりです。各機関の加盟資格、加盟会社は各機関のホームページに掲載されています。なお、個人使用情報機関に登録されている情報の取扱いに関する同意事項を承諾し、その情報が個人使用情報機関に登録されることに同意します。

① 機構が加盟する個人使用情報機関：全通銀行個人使用情報センター <https://www.zengininfo.or.jp/pcc/>  
② 個人使用情報機関：全通銀行個人使用情報センター <https://www.zengininfo.or.jp/pcc/>  
③ 個人使用情報機関：全通銀行個人使用情報センター <https://www.zengininfo.or.jp/pcc/>  
④ 個人使用情報機関：全通銀行個人使用情報センター <https://www.zengininfo.or.jp/pcc/>

左記の個人使用情報機関では、本裏面の書き方を念め、奨学金に関するご質問にはお答えできません。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び関係機関の取組に活用される場合があります。その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機関保証加入者となる個人番号のうち保証料に必要の情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の返還滞り防止のために調査があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

確認書兼同意書は、本人控としてコピーを取り返還誓約書を提出するまで大切に保管してください。

学校番号

学校番号は記入不要

## 《貸与奨学金申請者は全員提出》

- ①必ず学生本人が記入すること  
代筆不可！
- ②黒ボールペンで記入すること  
消せるボールペン不可！！
- ③住所は現住所(現在住んでいる住所)を記入すること
- ④記入を誤った場合は誤った箇所を二重線で訂正し、  
近くに正しく記入すること  
修正テープ、修正液の使用不可！！

様式は大学窓口で配付された『貸与奨学金案内』(ピンクの冊子)に挟まっているので、切り取って記入



貸与

# スカラネット入力下書き用紙(貸与のみ)

特に注意する点を抜粋して示しています。  
すべての項目を確認し、記入が必要なところはすべて記載のうえ、入力すること。

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

## 2024年度 スカラネット入力下書き用紙 【貸与奨学金のみ申込み用】(大学・短期大学・専修学校専門課程)

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。在学し(給付奨学金対象校)であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、用紙の裏面に貼られている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金(貸与同時申込み)】」も併せて入力してください。  
なお、緊急採用・応急採用に申し込む場合は、こちらの用紙を使用してください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>  
受付時間 8:00~25:00(最終締切日は8:00~24:00)  
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。  
入力所要時間の目安は30分~1時間です。

氏名	学籍番号	学部・学科・分野
受付番号		
-		

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】  
・学校から受け取った識別番号(ユーザIDとパスワード)  
・マイナンバー提出書  
・奨学金振込口座(本人名義)の通帳などのコピー(本冊子14ページに貼付)

### 【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」37ページ「(3)文字入力」を参照して文字を入力してください。

#### 識別番号入力

あなたの識別番号(学校から交付されたユーザIDとパスワード)を入力してください。  
(注)パスワード入力の際は半角・半角大文字・小文字の区別をします。

#### 奨学金学種(学校)・申込の選択

あなたどの課程で奨学金を受けたいですか。

課程: 大学の場合の表示例

申込の奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

17年度採用(11/15)又は18年度採用(11/15)の奨学金(貸与)のみを申込みます。  
 現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

2) 家計急変採用(給付奨学金のみ)

生計維持者に特定の事由が生じたことにより家計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を受ける場合のみ申し込みが可能です。  
学校で申込資格を確認してください。

3) 緊急採用・応急採用(貸与奨学金のみ)

生計を維持している人が失業、倒産、病死、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申し込みが可能です。  
学校で申込資格を確認してください。

必ず記入  
・氏名  
・学籍番号(学生番号)  
・学部名

スカラネット入力後に発行される受付番号を記入

大学から付与された識別番号を記入

定期採用に☑

## 奨学金申込専用ページ

### ■ログイン

申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。

申込ID	Z D 2 2 4	申込ID:パスワードについて
パスワード		

注)パスワード入力の際は半角・半角大文字・小文字の区別をします。

### ■メールアドレス登録

登録するメールアドレスを入力してください。  
ページ下部の「送信」ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛に認証コードが送信されます。  
【登録するメールアドレスについて】  
申込IDやパスワードを忘れた場合、申込IDの通知やパスワード初期化の認証に使用されます。送付メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。【jass@sas.jasso.go.jp】からのメールを受信できるようにしてください。

### ■新しいパスワードの設定

初回のみ「マイナンバー提出書」に印字されているパスワードの変更が必要です。  
新しいパスワードを設定してください。  
(パスワードの構成について)  
◆第三者に推測されやすい数字や英字(生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等)を使用しないでください。  
◆第三者にパスワードを教えないでください。  
◆第三者の目に觸れない場所にパスワードを記入しメモを残さないでください。  
◆【パスワードの作成条件】  
半角の英字、数字を含む組み合わせであること。  
8~16文字以内であること。  
申込と異なる文字列であること。  
現在登録済みのパスワードと異なるものであること。

### ■メールアドレス確認

入力したメールアドレスに認証コードを送信します。  
メールに記載の認証コードを入力してください。

### アカウント情報登録完了

と表示されたら、メールアドレスと申込IDを「奨学金案内」裏表紙の「お手続き」の「次へ」を押すとメインメニューが表示されます。「奨学金申込」をクリックします。

### STEP1

#### 確認書兼同意書の提出

※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」に貼り替えてください。

あなた(あなたが未成年(18歳未満)の場合は、あなたと親権者または未成年後見人)は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- ・貸与申込条件等
- ・個人情報情報の取扱いに関する同意事項
- ※個人情報情報の取扱いに関する同意事項には、返済するとあなたの個人情報(個人情報情報)に登録される等、重要な内容が記載されています。

提出しました。

提出していません。

下の「規定等を表示」ボタンを押して規定等(保証委託約款を含む)を確認し、了承する場合は、申請を行ってください。

※規定等を閲覧するまで、次の画面に進むことはできません。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

### STEP2

#### 日本学生支援機構奨学金の案内

- ◆第一種奨学金  
無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
- ◆第二種奨学金  
利子付きの奨学金(在学中は無利子)で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

マイナンバー提出書		001-0057837#
【2024年度在学採用】		
地方独立行政法人日本学生支援機構理事長 兼 局長 私は、日本学生支援機構(以下「機構」という)の奨学金の貸与奨学金、給付奨学金又は貸与奨学金と給付奨学金の両方を申し込み、給及給付奨学金のマイナンバー(個人番号)並びに住所が指定する番号確認書類を提出します。また、私は、生計維持者に、機構が行う修学費に関する特定の個人情報の取扱いに関する法律及び個人情報保護法で定められた範囲で各者のマイナンバーを利用すると及び地方教育委員会を利用すること、並びに機構が取得した各個人の個人情報を私用の奨学金に関する目的に利用することに同意するとともに、私が機構の従業員に業務委託(又は業務委託先)として勤務している学生等に対して業務委託先として業務委託を受けることについて同意します。		
<b>スカラネット(インターネット)奨学金申込用【申込ID・パスワードは必ず入力してください】</b> (機密要付用)		
申込ID	ZD22057837	パスワード
※下のペンはボールペンで正確に記入してください。 氏名(署名)は、提出必須書類に記載の氏名を各自記入してください。		
記入日(西暦)	20 年 月 日	
氏名(署名)	マイナンバー(個人番号)	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
現住所	〒 市区町村 郵便番号	
電話番号(固定)	(携帯)	
学校名	提出必要書類 番号確認書類(裏面参照)	
<input checked="" type="checkbox"/> スカラネットから奨学金の申込み、チェック済みのマイナンバーを提出する。		
【生計維持者は、スカラネットから生計維持者と同じくしてください。】		
生計維持者①	氏名(署名)	
マイナンバー(個人番号)		記入日(西暦)
生年月日		昭和・平成 年 月 日
提出必要書類 番号確認書類(裏面参照)		

必ず窓口で受取ったマイナンバー提出書に記載されている申込IDとパスワードを入力してください。

提出前であっても便宜上提出しましたに☑

見本

貸与

# スカラネット入力下書き用紙(貸与のみ)

## ①-あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿  
私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」にしたがい、奨学金に入学決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 西暦 年 月 日  
(半角数字)

姓 名  
氏名(全角漢字) 5文字以内 5文字以内  
氏名(全角カナ) 15文字以内 15文字以内

生年月日 年 月 日 日生

国籍  日本国籍  日本国籍以外

在留資格  在留期間(満了日) 西暦(半角数字4桁) 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。  はい  いいえ

在留資格が「家族滞在」の場合、大学等を卒業後も日本で就労し、定着する意思がありますか。  はい  いいえ

在留資格が「家族滞在」の場合、日本国へ初めて入国した日について入力してください。

日本国へ初めて入国した日 西暦(4桁) 年 月 日

日本の小学校を卒業しましたか。  はい  いいえ

卒業した小学校名   
卒業した小学校の所在地(都道府県)

日本の中学校を卒業しましたか。  はい  いいえ

卒業した中学校名   
卒業した中学校の所在地(都道府県)

日本の高等学校を卒業しましたか。  はい  いいえ

卒業した高等学校名   
卒業した高等学校の所在地(都道府県)

\*誓約日は以後訂正することができません。

あなたが在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)である場合は、給付奨学金の内容をきんだ画面が表示されます。

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準とし、返還期決定を行います。

【貸与奨学金案内】37ページ【(3)文字入力】を参照しながら、学生本人の本名を全角大入力してください。

(例) 漢字氏名 カナ氏名

【カ】が氏名は、読み口元の氏名氏名(例)【カ】を必ず入力してください。

生年月日の入力をおこなうと、正しく成年判定を行うことができます。

外国籍の人は「奨学金案内」8ページの表のとおり在留資格に制約があります。必ず在留資格を在留カード等で確認してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者及び家族滞在の人は、在留期間(満了日)を入力してください。在留資格が法定特別永住者又は永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

貸与奨学金制度 申込手順等

(1)~(14)から1つ選択

## STEP3

### ②-奨学金申込情報

1. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

(1) 第一種奨学金のみ希望します。

(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。

(3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。

(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。

(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。

(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

(8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。

(9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。

(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

(11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

(12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。

(13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

(14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

\* (12) は次書です

上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学金番号を入力してください。

奨学金番号

(半角数字)(例: 823 04 999999)

在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)である場合は、「第一種奨学金申込情報」の「2種奨学金を希望しますか。」で「希望します」を選択すると表示されます。

あとで変更することはできません。「奨学金案内」31ページの解説内容をよく確認し、希望する1つを選択してください。

緊急採用・応急採用を申し込む人は (1) (2) (4) (10) (11) (13) の中から希望するものを1つ選択してください。

【(8) (9) (10) (11) (13) (14) を選択する人へ】必ず【1ページ】の「注意事項⑧」を確認してください。

【(5) (6) (7) を選択する人へ】必ず【1ページ】の「注意事項②」を確認してください。

緊急採用・応急採用 貸与開始・返還

## ③-あなたの在学情報

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学

(2) あなたの学籍番号を入力してください。 (2) 半角英数字記号

(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3)

(注) 短期大学・専修学校在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4)  はい  専攻科  別科

(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年

(6) 昼夜課程を選択してください。 (6)

☑ 昼 ☐ 夜 (昼夜両開き含む)

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①-③のうち該当するものを選択し、年月等を記入してください。

①現在通っている学校の1年次以上入学した。(同一校で転学課程・科にしている場合を含む) →入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください) →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

③現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

④現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に通っていた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある。(以下5つの年月を全て記入してください))

【1回目の編入学】

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

【2回目の編入学】

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。 (8) 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業予定

(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 年 月

学生番号を正確に入力すること  
例: 24L1234A  
(アルファベットは8桁大文字入力)

昼に☑

4年0か月

### <入学・卒業予定年月見表>

2024年4月現在 1年生			2024年4月現在 2年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2026/3	2年		2025/3
3年		2027/3	3年		2026/3
4年	2024/4	2028/3	4年	2023/4	2027/3
5年		2029/3	5年		2028/3
6年		2030/3	6年		2029/3

2024年4月現在 3年生			2024年4月現在 4年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2025/3	4年		2025/3
4年		2026/3	5年	2021/4	2026/3
5年	2022/4	2027/3	6年		2027/3
6年		2028/3			

※長期履修学生について

長期履修学生(「奨学金案内」10ページ参照)については、原則として奨学金を受けられることできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、学校担当者へ申し出てください。

【(5) (6) (7) を選択する人へ】必ず【1ページ】の「注意事項②」を確認してください。

【(5) (6) (7) を選択する人へ】必ず【1ページ】の「注意事項②」を確認してください。

なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学別に定める「長期履修課程の修業年限の終期まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。

緊急採用・応急採用を申し込む場合は、入学年月のみを入力する段階となり、現在在籍している学校の1年次以上入学した実際の年月(在学している学校に編入学又は転学した人は、編入学又は転学する前の学校の1年次以上入学(高等専門学校からの編入学又は転学の場合は、高等専門学校の4年次連続)した実際の年月)を入力してください。

(8) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2026年3月に在りますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今後の卒業予定を入力してください。【注】長期履修学生・長期卒業予定年月見表を参照してください。なお、年度途中で特別な事情により、卒業年月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9) 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという期間です。※開始月から何年通うかという意味ではありません。入学履歴をしないよう注意してください。

(例)  4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年。  
 2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年(1.5年ではありません)。

貸与奨学金制度 申込手順等

スカラネット入力

緊急採用・応急採用 用紙

貸与開始・返還

# 貸与

# スカラネット入力下書き用紙(貸与のみ)

貸与奨学金制度  
申込手順等  
スカラネット入力下書き用紙  
緊急採用・応急採用  
貸与開始・返還

入学年度(入力した入学年月)により選択できる月額が異なります

10. あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。  
※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

住所 1 (自動入力)  住所検索  
住所 2 (番地以降)(全角文字)

11. あなたの通学形態を選択してください。  
社会的養育を必要とする人が、児童養育施設や児童福祉施設等に在籍している場合、費用(家賃)を負担していない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる社会的養育を必要とする人を含む独立生活者が居住にかかわらず通学している場合は、学校までの通学距離・時間等)を選択し、下記説明にて⑤及び「支障が生じる」と選択のうえ、欄に「独立生活者である」旨を入力してください。  
※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合で申込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を金も自宅外通学からの申込みとなります)。自宅外通学の申込みとは別出し、かつ学生等本人の居住に係る家賃(発生し、アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なくあります。

○自宅通学(またはこれに準ずる)

上記で「自宅外通学」を選択した人にお知らせします。  
「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたに当てはまるか、いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

- ①実家(生計維持者いすれもの住所)から大学等までの通学距離が10km以上
- ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ③実家から大学等までの通学費用が1万円以上
- ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上である通学機関の運行本数が1週間あたり1本以下
- ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連性がある場合

上記で⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連性があると答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じると答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

住所 1 (自動入力)  住所検索  
住所 2 (番地以降)(全角文字)

④-奨学金給付情報  
貸与奨学金のみ希望する方は、入力する必要はありません。

⑥-奨学金貸与情報  
1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。  
(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制限はありません。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、2024年4月開校(二次採用(仮)で奨学金を申し込む場合は2024年10月開校)で通学しているキャンパスの住所を選択してください。自動表示されない場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)ではない場合、「あなたが通学する学校は、給付奨学金の対象外のため入力が必要ありません」と表示されます。

入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。また、専門学校(専門課程)のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専門学校は「国・公立」の月額が適用されます。ブルダウリストから希望する月額を選択してください。

入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。また、専門学校(専門課程)のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専門学校は「国・公立」の月額が適用されます。ブルダウリストから希望する月額を選択してください。

最高月額を利用するためには、併用貸与の計画書を作成し提出する必要があります。それぞれ月額利用できる収入・所得金額の目安は「奨学金案内」の12ページを参照してください。

専ら定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与期間は2024年4月(仮は10月)となります(入学年度により変更)。

自宅外通学の場合でも、自宅外通学を選択することができます(入学年度により異なります)。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上記の最高月額以外の月額から選択してください。

最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。  
貸与月額○○円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

6

**水戸キャンパス**  
(郵便番号) 310-0056  
(住所1) 茨城県水戸市文京2丁目  
(住所2) 1番1号

**日立キャンパス**  
(郵便番号) 316-0033  
(住所1) 茨城県日立市中成沢町4丁目  
(住所2) 12番1号

**阿見キャンパス**  
(郵便番号) 300-0332  
(住所1) 茨城県稲敷郡阿見町中央3丁目  
(住所2) 21番1号

※現在通学するキャンパスの住所を記入  
※郵便番号は上記番号を記入

## 第一種奨学金申請者記入

## 第一種奨学金申請者記入

## 第二種奨学金申請者記入

入学年度(入力した入学年月)により選択できる月額が異なります

2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額

国・公立	私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円
3万円			3万円			

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制限はありません。

2. あなたの希望する返還方式を選択してください。  
(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

(2) ○所得連動返還方式 ○定額返還方式

3. 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。  
「はい」と答えた人はこれまでに今回申込みと同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号(半角数字)

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込みを行ってください。  
(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

再貸与の制度を表示  
 同意します  
 同意しません

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

(2) あなたの希望する月額はブルダウリストから希望する月額を選択してください。

(2) 「はい」と答えた人は、希望する月額を選択してください。

(3) 「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。あなたは(医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増)を希望しますか。  
(3) ○4万円 ○2万円 ○希望しない

併用貸与を希望した人に表示されます。  
併用貸与については、「奨学金案内」6ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。  
併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

一次採用(専)に申し込む人は、2024年4~9月のいずれかの月を入力してください。次の説明3.で入学希望する人は、2024年~2025年3月のいずれかの月を入力してください。応急採用を申し込む人は、「奨学金案内」44ページで申請できる貸与期間を確認してください。

入学時特別奨励貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。  
(1) あなたは入学時特別奨励貸与奨学金を希望しますか。  
1年次に入学した人および編入入学のみ希望することができます。  
(1) ○はい ○いいえ

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。  
(2) ○10万円 ○20万円 ○30万円 ○40万円 ○50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別奨励貸与奨学金を希望する人は答えてください。  
(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。  
(1) ○利率固定方式 ○利率見直し方式

返還時の利率の算定方法を選択する項目です。詳しくは「奨学金案内」16ページを参照してください。

7

2024年4月と記入



# 貸与

# スカラネット入力下書き用紙(貸与のみ)

STEP4

⑥-①あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校(本科)を卒業しましたか。

※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校(第1学年から第3学年まで)又は専修学校の高等課程(修業年限が3年以上のもの)を含みます。(インターナショナルスクールや在外教育施設等を含みませぬ)

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

はい  いいえ

「はい」と答えた人にお聞きします。  
あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦(半角数字4桁) 年 月

「いいえ」と答えた人にお聞きします。  
あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

高等学校卒業程度認定試験合格者  
 その他(インターナショナルスクール、在外教育施設等)

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きします。  
あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。

西暦(半角数字4桁) 年 月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度(16歳になる年度)から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験してきましたか。

はい  いいえ

「その他」と答えた人にお聞きします。  
あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

西暦(半角数字4桁) 年 月

3. [給付] あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金(原則、返還不要)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを含む)

はい  いいえ

[貸与] あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した他日本学生支援機構の貸与奨学金(第一種・第二種)(原則、要返還)を受けていますか。(現在貸与が終了しているものを含む)

はい  いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。  
※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。  
※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1	<input type="text"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
半角数字	例) 奨学生番号 1 612 04 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	奨学生番号 2 619 08 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	奨学生番号 3 810 01 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	奨学生番号 4 815 02 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	奨学生番号 5	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。

確認しました

西暦に卒業または退学した学校の年月及び学校を選択してください。

緊急採用・応急採用を申し込む人は異なる設問が表示されますが、画面表示に従い入力してください。

高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

高等専門学校を卒業した場合、第3学年終了年月を入力してください(高等課程2年間を含む1年月を入力してください)。

高等専門学校(高等課程)を2024年3月に卒業  
⇒高等学校を卒業した年月は2022年3月

「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験しています」とは、下記のような場合が該当します。

(例)  
・16歳になる年度:2015年度  
・16歳になる年度から5年経過  
⇒2020年4月1日以後  
・2020年度、2021年度に  
学校卒業程度認定試験(不合格)  
・2022年度に高等学校卒業程度認定試験(合格)

②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の給付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問で「はい」を選択する必要があります。その奨学生番号を全て入力してください。

②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に奨学金を受けなかった場合は、設問で「いいえ」を選択してください。

なお、採用取消となったものは入力しないでください。

高校在学中に、返還不要(日本学生支援機構及び日本育英会以外)から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、卒業17年度入学まで、日本学生支援機構の各都道府県に移管されました。

②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号は入力しないでください。奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。記入を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

同一の学校区分(大学・短期大学・専修学校等)で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

最終学歴、卒業年月、日本学生支援機構の奨学金を受けたことがあるかなどを記入

STEP5

⑦-①保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 機関保証  
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。  
 制度の内容について承認し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証  
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。  
 制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

併願又は併用で申し込み(STEP3画面にて、次の選択肢を選択した場合)。

(4) 第1希望:第一種奨学金・第2希望:第二種奨学金  
(5) 第1希望:第一種奨学金・第2希望:第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金  
(6) 第1希望:第一種奨学金・第2希望:第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金 第3希望:第二種奨学金  
(7) 第1希望:第一種奨学金・第2希望:第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金  
かつ第一種奨学金の返還方法を「所得運動返還方式」と選択した場合

▼ 1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得運動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

(1) 機関保証  
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。  
 制度の内容について承認し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証  
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。  
 制度の内容について承認し、人的保証を選択します。

STEP6

⑦-②貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前△△△△さんですね。 (2)

(2) あなたの性別を選択してください。(任意) (3)

(3) あなたの生年月日は××年△△月○日ですね。 (4) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号) (半角数字)  住所検索

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)(全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字)

携帯電話の電話番号を記入してください。(携帯)(半角数字)

住所の入力例

(郵便番号) 162-0999 住所検索 押下

注意!

表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本町1 1丁目  
○東京都 新宿区 市谷本町2 2丁目  
○東京都 新宿区 市谷本町3 3丁目

住所2(番地以降) 9-9-9 機構ハイツ505

注意!

※番地以降を全て全角で入力してください(英数字やハイフン、スペースを含む)。入力漏れがあると次の画面に進めません。  
※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「(ピリオド)」を入力してください。  
※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。  
左記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に続けて「1丁目9-9-9…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目9-9-9…」となります。  
※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡の取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

保証制度を選択する

人的保証を選択する場合は連帯保証人・保証人の選任条件を確認し、必ず本人に同意を得てください。

機関保証を選択する場合は人的保証への変更はできません。

奨学金案内から保証制度を確認し、選択してください。

あなたが現在住んでいる住所を記入  
※下宿している場合はアパートの号室まで正確に記入

チェックを入れないと次に進むことができません

③ページ「②-奨学金申込情報」を参照

所得運動返還を希望する第一種奨学金(返還方式)は表示されませんが、詳細は18ページ「⑦-奨学金返還」をご覧ください。

チェックを入れないと次に進むことができません

⑦-あなたの氏名を入力した姓が表示されます

⑦-あなたの氏名を入力した生年月日に入ります

あなたのマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所の記入が必要です。

※下記の住所・電話番号は任意で入力してください

貸与開始と返還

①-保証制度で「(1)機関保証」を選択した人

2. 本人以外の連絡先について  
あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

(1) 漢字 (全角漢字) 姓 名  
カナ (全角カナ)

(2) その生年月日 (b) 年 月 日 日生

(3) あなたの性別 (c)  男  女

(4) その住所 (4) (郵便番号) (市区町村) 住所検索

住所1 (自動入力)  
住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号  
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。  
(5) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

①-保証制度で「(2)人的保証」を選択した人

3. 連帯保証人と保証人について  
あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・あなた(申込者)が成年の場合 原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入してください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角漢字) 姓 名  
カナ (全角カナ)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日 日生

(c) あなたとの関係 (c)  未成年者  兄弟姉妹  その他

(d) その住所 (d) (郵便番号) (市区町村) 住所検索

連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。  
※印鑑登録証明書には住所を記載する必要があります。

(e) その電話番号  
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。  
(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字)

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。  無職

①-保証制度で「(1)機関保証」を選択した人について

機関保証を選択した人は、あなた(本人)以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

※注意! [本人以外の連絡先]を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した[本人以外の連絡先]は採用されるまで連絡先として印字されます。万一、送達拒絶等に必要と認めらる場合、不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

※[国]ページの「住所の入力例」参照。  
- 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

※[国]ページの「住所の入力例」参照。  
- 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

※[国]ページの「住所の入力例」参照。  
- 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。  
無職の場合は「その勤務先」には何も入力しないでください。

人的保証を選択した人は、11ページの「(2)保証人について入力してください。」を記入してください。

10

①-保証制度で「(2)人的保証」を選択した人(続き)

(2) 保証人について入力してください。

- ・原則として、4 籍等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を記入してください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角漢字) 姓 名  
カナ (全角カナ)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日 日生

(c) あなたとの続柄 (c)  配偶者  その他

(d) その住所 (d) (郵便番号) (市区町村) 住所検索

住所1 (自動入力)  
住所2 (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号  
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。  
(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字)

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。  無職

(g)  はい  いいえ

※連帯保証人と保証人は別生計です。  
※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の登録日(※あなたの氏名・登録情報で入力した生年月日)時点での年齢を元に判定を行います。

連帯保証人・保証人について  
①-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。  
連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。  
保証人には、「別々の利益」が適用されます。また、「検索の拒否権」及び「催告の拒否権」があります(連帯保証人にはありません)。  
詳しくは、「奨学金案内」24ページを参照してください。  
また、「奨学金案内」24～26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、[国]ページの3の(1)、及び本ページの3の(2)を記入してください。  
もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらかじめ条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、①-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。  
採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

STEP7  
⑨-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養育を必要とする人ですか。  はい  いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

- 児童養育施設入所者等
- 児童自立支援施設入所者等
- 児童心理治療施設入所者等
- 自立援助ホーム入所者等
- 里親に養育されている(いた)人
- ファミリーホームで養育されている(いた)人

2. 生計維持者(原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要で(離婚等により完全に別生計の人を除く)。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1)  1人  2人

生計維持者は最大2人です。  
緊急採用・応急採用を申し込む人はこの設問は表示されません。

「はい」を選択する人は、施設に入所していた(入所している)、又は空欄による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書等の提出が必要です。  
(証明書等の例)  
施設等在籍証明書(施設発行)、児童(児童)委託証明書(児童相談所発行)、措置解除決定通知書(児童相談所発行)等  
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

※生計維持者については、必ず「奨学金案内」13-14ページを確認してください。  
生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母(父母ともいる場合2人とも)としています。施設入所の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

緊急採用・応急採用を申し込む人はこの設問は表示されません。

11

貸与申込書(学費)別紙

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

緊急採用・応急採用

貸与開始・返還

貸与申込書(学費)別紙

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

緊急採用・応急採用

貸与開始・返還

(2) 生計維持者① (父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人) ←

(a) あなたの続柄 (a)

(b) 生計維持者①の氏名 (b) 漢字 (全角漢字) 姓 名  
カナ (全角カナ)

(c) 生計維持者①の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) - 住所検索  
住所 1 (自動入力)  
住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機械に提出する準備はできていますか。  
(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。  
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。  
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。  
準備できている  
これから準備する  
その他

(f) 生計維持者①は2022年1月2日以降に転職しましたか。 ←  
※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。  
○はい ○いいえ

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報 (2022年1月～2022年12月の収入情報) にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。  
第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。  
※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。  
上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。  
直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。  
※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

生計維持者①の入力は必須です。ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

結婚後に父母が再婚 (事実婚含む) している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に問わず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金」から、生計維持者を選び、海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

生計維持者①(父か母)の情報を記入

(3) 生計維持者② (父、母など) ←

(a) あなたの続柄 (a)

(b) 生計維持者②の氏名 (b) 漢字 (全角漢字) 姓 名  
カナ (全角カナ)

(c) 生計維持者②の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) - 住所検索  
住所 1 (自動入力)  
住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを機械に提出する準備はできていますか。  
(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。  
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。  
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。  
準備できている  
これから準備する  
その他

父母のうち2人に入力した人は必ず必要入力してください。入力した人数を記入してください。1人だけ入力している人は(2)を、(3)の次のページで入力してください。

結婚後に父母が再婚 (事実婚含む) している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に問わず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内」37ページを参照しながら、生計維持者②の本名を全角で入力してください。

海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

生計維持者②(父か母)の情報を記入

(f) 生計維持者②は2022年1月2日以降に転職しましたか。 ←  
※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。  
○はい ○いいえ

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報 (2022年1月～2022年12月の収入情報) にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。  
第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。  
※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。  
上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。  
直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。  
※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

二次採用 (秋) で奨学金を申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。  
緊急採用・応急採用に申し込む人はこの設問は表示されません。

二次採用 (秋) で奨学金を申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。  
緊急採用・応急採用に申し込む人でスカラネット入力完了日 (申請日) が2024年10月以降になる人は、2023年を2024年に読み替えてください。

3. あなたの生計維持者が扶養している親族の数 (あなたを含む。) を入力してください。  
※以下の両方の条件を満たす親族の人数を入力してください。  
1 あなたの生計維持者が 税法上扶養していること  
2.1 の生計維持者より年下であること

(1) 2022年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族 (あなたを含む) の人数を入力してください。  
 人

(2) 2023年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族 (あなたを含む) の人数を入力してください。  
 人

生計維持者が不要している親族の数

STEP8  
① 一家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。  
(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください)  
注 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください。(学校担当者から確認等を行う場合があります)

100文字以上記入

家庭事情情報は、全角入力する必要があります。特に、緊急採用・応急採用の申込みをする人は、「いつ」「どういった事由で」家計急変したのか、事情をできるだけ詳しく入力してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

緊急採用・応急採用に申し込む人で、震災、火災、風水害等被災し、生計維持者が死亡、行方不明、生死不明となったことを事由として申し込む場合は、被災した災害 (災害が発生した日付、被災地域) 等の状況を詳しく入力してください。

# 貸与

## スカラネット入力下書き用紙(貸与のみ)

**注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。**  
 入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- あなた本人の預・貯金口座です。
- 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。
- 誓約欄のカナ氏名と通帳の口座名義人(カナ)は完全に同一です。
- 金融機関名・支店名・口座番号(ゆうちょ銀行以外の場合)、または記号・番号(ゆうちょ銀行の場合)は正しいです。(※)
- この通帳は1年以内に記帳できました(休眠口座ではありません)
- 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。

※ 3か月以内に新設された支店は選択できない場合があります。

**振込先指定口座は【本人名義】のみ！！**  
 ※本人名義以外の口座は振込できません

**振込先口座情報を記入**

1. 奨学金振込口座情報  
 1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1. 希望します 希望しません  
 公金受取口座とは

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2. 銀行等 ゆうちょ銀行  
 説明1: 「(公金受取口座の利用を)希望します」を選択した場合、奨学金の振込先は原則としてあなた(デジタル庁)に事前登録した公金受取口座となります。ただし、あなたの公金受取口座情報を検索できない場合に備えて、奨学金の振込先となる口座情報を入力する必要があります。なお、公金受取口座と同じ口座情報を入力してはいけません。

【銀行等を選択した場合】  
 金融機関名および支店名を選択してください。  
 (1) 金融機関名の読み先頭1文字を選択してください。 (1)   
 1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)   
 (3) 支店名の読み先頭1文字を選択してください。 (3)   
 2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金種目/口座番号を入力してください。  
 確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。(口座名義人は本人に限ります)  
 4. 口座名義人(全角カナ)  姓  名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】  
 3. 貯金通帳等を確認後、口座の記号・番号を入力してください。  
 3. 記号・番号  記号  番号   
 確認のため、再度口座の記号・番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。(口座名義人は本人に限ります)  
 4. 口座名義人(全角カナ)  姓  名

【通帳の口座名義人・口座情報が記載されているページのコピーをここに貼り付け】

口座情報がわかる通帳・キャッシュカード等のコピーを貼りつける

お名前(カナ)  
 ジョウヨウ タロウ  
 金融機関コード(銀行コード)  
 0130  
 店番(支店コード)/店名  
 006 土浦  
 預金種目/口座番号  
 普通預金 1234567

常陽銀行

常陽 太郎 様  
 店番 006 口座番号 1234567

休眠口座・貯蓄口座  
 不可！

**振込できない金融機関**

信託銀行	農協
外資系銀行	ネットバンク
コンビニ銀行	新生銀行
あおぞら銀行	一部の信用金庫

4. 普通預金 銀行等

ゆうちょ銀行

この口座は信託銀行等の振込のみが可能な口座で、利用可能な振込先の内容をご確認ください。  
 (※)「ゆうちょ銀行以外(ゆうちょ銀行以外)」  
 (※)「信託銀行」普通預金 (口座番号) 0023456

入力後、「次へ」ボタンを押すと、奨学金振込口座情報確認に進みます。口座情報に誤りがないか確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「奨学金案内」40ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。

給付

給付貸与  
両方

# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2024年度  
スカラネット入力下書き用紙  
【給付奨学金(貸与同時申込み)用】



給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット」入力下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、この下書き用紙には給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の部分で回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の部分で回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む人は、青色背景の部分で回答の必要な設問が異なります。

スカラネットURL: <https://www.sas.jasso.go.jp/>  
受付時間: 8:00~25:00(最終締切日は8:00~24:00)  
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。  
入力所要時間の目安は30分~1時間です。

必ず記入  
・氏名  
・学籍番号(学生番号)  
・学部名

氏名: \_\_\_\_\_ 学籍番号: \_\_\_\_\_ 学部・学科・分野: \_\_\_\_\_  
受付番号: \_\_\_\_\_

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】  
・学校から受け取った識別番号(ユーザIDとパスワード)  
・マイナンバー提出書  
・奨学金振込口座(本人名義)の通帳などのコピー(本冊子16ページに貼り付けてください。)

【スカラネット入力内容記入欄】  
識別番号入力  
あなたの識別番号(学校から交付されたユーザIDとパスワード)を入力してください。  
(注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。  
ユーザID: \_\_\_\_\_ パスワード: \_\_\_\_\_

奨学金学種(学校)・申込の選択  
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。  
大学の場合の表示例  
申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。  
(1) 定期採用(1次又は2次) 給付奨学金・貸与奨学金  
現在在学している大学での奨学金を申込みすることができます。  
(2) 家計急変採用(給付奨学金のみ)  
生計維持者に特定の事由が生じたこと(家計急変、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ)申し込みすることができます。  
学校で申込資格を確認してください。

スカラネット入力後に発行される受付番号を記入

大学から付与された識別番号を記入

特に注意する点を示しています。  
すべての項目を確認し、記入が必要なところはすべて記載のうえ、入力すること。

奨学金申込専用ページ  
ログイン  
申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。  
申込ID: ZD24 \_\_\_\_\_ パスワード: \_\_\_\_\_  
メールアドレス登録  
登録するメールアドレスを入力してください。  
O新しいパスワードの設定  
初回のみ「マイナンバー提出書」に印字されているパスワードの変更が必要です。  
Oメールアドレス認証  
入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。  
メールに記載の認証コードを入力してください。

申込ID: ZD2057837 パスワード: YC5UXA  
氏名(フリガナ): \_\_\_\_\_ 20 年 月 日  
マイナンバー: \_\_\_\_\_  
生年月日: \_\_\_\_\_ 年 月 日  
電話番号: \_\_\_\_\_  
学校名: \_\_\_\_\_  
提出必要書類: 番号確認書類と身元確認書類の両方(裏面参照)  
生計維持者①: \_\_\_\_\_

見本

必ず窓口で受取ったマイナンバー提出書に記載されている申込IDとパスワードを入力してください。

提出前であっても便宜上提出しましたに☑

給付奨学金別表  
申込み  
採用後の手続き  
下入力下書き用紙  
採用後の手続き

給付

給付貸与両方

# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

STEP3  
②-奨学金申込情報

大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程

希望します  
希望しません

高等教育の修学支援新制度における「授業料等減免」の申請を希望する場合は、希望します  
希望しません

2. 貸与奨学金(月額：第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子))の貸与奨学金を希望する場合は、希望します  
希望しません

あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(1) 第一種奨学金のみ希望します。  
(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。  
(3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。  
(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。  
(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。  
(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

(8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。  
(9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。  
(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。  
(11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。  
(12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与不採用への変更を希望します。  
(13) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与不採用への変更を希望します。  
(14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。

※(12)は次書です。  
上記(8)～(9)、(10)、(11)、(13)、(14)を選択した人は奨学金番号を記入してください。

奨学金番号      
(半角数字)(例: 823 04 999999)

通信課程の場合

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。  
希望します  
希望しません

高等教育の修学支援新制度における「授業料等減免」の申請を希望する場合は、希望します  
希望しません

2. 貸与奨学金(月額：第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子))の新規申込みを希望しますか。  
希望します  
希望しません

3. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(1) 第一種奨学金のみ希望します。  
(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。  
(3) 第二種奨学金のみ希望します。  
(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。

あなたが在籍している通信課程により奨学金の貸与を受けられない場合があります。詳しくは学校に確認してください。

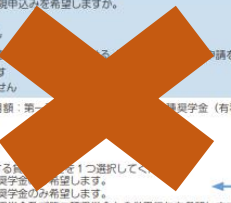
「2. 貸与奨学金(月額：第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子))を希望しますか」で「希望します」を選択すると表示されます。「貸与奨学金案内」をよく確認し、希望するものを選択してください。

「希望します」に☑

今回新規もしくは追加で貸与奨学金を申し込みの方は「希望します」に☑

給付奨学金だけを申し込みの方は「希望しません」に☑

貸与奨学金を希望する場合は(1)～(14)から選択する



③-あなたの在学情報 大学の場合

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ×× 大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号) ××××××××

(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3) ×× 学部

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科

(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) ×× 学年

(6) 昼夜間学を選択してください。 (6) 昼 (昼夜間講義含む) 夜 通年スクーリング 昼間スクーリング

(7) 現在通っている学校の学部(科)名について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一科で転学部・科している場合を含む)  
→入学した年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日

②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に他の学校から編入学又は転学した。(以下の3つの年月を全て記入してください)  
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)の最終年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日  
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日  
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日

③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください)

【1 回目の編入学】  
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日  
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日  
→2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日

【2 回目の編入学】  
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日  
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 ××日

短期大学及び高等専門学校の人は、以下のとおり校種が変更になります。この校種において、あなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けているかを「認定専攻科の一覧表」で確認し、「はい」又は「いいえ」を選択してください。「いいえ」を選択した場合、給付奨学金の支援対象外です。

高等専門学校の場合は、以下のとおり校種が変更になります。

(6) あなたの入学年月を記入してください。  
西暦(半角数字4桁) ××年 ××月 入学

(7) 現在通っている学校の4年次へ進級した年月を記入してください。  
西暦(半角数字4桁) ××年 ××月

短期大学の場合は「(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか」と表示されます。

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示にしたがってください。

(4) 専修学校は、「あなたは上級学科に在学していますか」という校種が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 次の専攻科・別科名を選択してください。(例) ○2年次 ○3年次 ○4年次 ○5年次

(6) 通学課程の学生は「昼(昼夜間講義含む)」又は「夜」を選択してください。(高等専門学校の場合、この校種は表示されません)。

(7) ①～③から該当する1つを選択してください。  
編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月も入力が必要ですよ。  
(例)  
2022年4月にA短期大学に入学。2024年3月にA短期大学卒業後、2024年4月にB大学の3年次に編入学。  
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 2022年4月(A短期大学の入学年月)  
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 2024年3月(A短期大学の卒業年月)  
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 2024年4月(B大学へ編入学した年月)  
短期大学又は高等専門学校の認定専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する校種が表示されます。  
・専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)へ入学した年月  
・専攻科に入学する前に通っていた学校(本科)に在籍していた最終年月  
・専攻科に入学した年月  
高等専門学校から編入学、転学又は専攻科に入学した場合、前に在学していた学校の入学年月には高等専門学校の4年次に進級した年月を入力してください。

「昼」に☑

学生番号を正確に入力してください  
例: 24L1234A  
(アルファベットは大文字入力)

申込手順書  
スカラネット入力下書き用紙  
採用後の手続き

# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

給付

給付貸与  
両方

(8) あなたの正規の卒業予定年月月を記入してください。  
(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。

**入学・卒業予定年月早見表**

2024年4月現在 1年生			2024年4月現在 2年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2026/3	2年		2025/3
3年		2027/3	3年		2026/3
4年	2024/4	2028/3	4年	2023/4	2027/3
5年		2029/3	5年		2028/3
6年		2030/3	6年		2029/3

※長期履修学生について  
長期履修学生（「給付奨学金案内」5ページ参照）については、原則として奨学金を受けることに相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月、修業年限は学校担当者へ申し出てください。

(10) あなたの通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押して住所が自動入力されない場合は、郵便番号ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や定額等のもとから通学し、本人居住にかかる費用(家賃)を負担していない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

※社会的養護を必要とする人をさむ独立生計者が居住にかかる費用(家賃)を支払いつながり通学している場合は、学校までの通学距離(時間等)に関わらず「自宅外通学」を選択し、下記欄に「なぜ「支障が生じる」を選択したのか、支障が生じる理由の記入欄」に「独立生計者である旨」を入力してください。

※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者(原則父母)と別居し、かつ学生等本人の居住に係る実費が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きします。「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全てを選択してください。

いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

①実家(生計維持者いすれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上

②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上

③実家から大学等までの通学費が月1万円以上

④実家から大学等までの通学費が月1万円以上

※上記①～④のいずれかを満たす場合は、「自宅外通学」を選択してください。

上記で「⑤その他やむを得ない理由により自宅外通学が必要」として「支障が生じますか」と答えた人は、実費を支払いつながり通学している場合、「支障が生じる」を選択してください。

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

4年0か月

水戸キャンパス  
(郵便番号) 310-0056  
(住所1) 茨城県水戸市文京2丁目  
(住所2) 1番1号

日立キャンパス  
(郵便番号) 316-0033  
(住所1) 茨城県日立市中成沢町4丁目  
(住所2) 12番1号

阿見キャンパス  
(郵便番号) 300-0332  
(住所1) 茨城県稲敷郡阿見町中央3丁目  
(住所2) 21番1号

※現在通学するキャンパスの住所を記入  
※郵便番号は上記番号を記入

**自宅外通学者  
記入欄**

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きします。「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全てを選択してください。

いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

①実家(生計維持者いすれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上

②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上

③実家から大学等までの通学費が月1万円以上

④実家から大学等までの通学費が月1万円以上

※上記①～④のいずれかを満たす場合は、「自宅外通学」を選択してください。

上記で「⑤その他やむを得ない理由により自宅外通学が必要」として「支障が生じますか」と答えた人は、実費を支払いつながり通学している場合、「支障が生じる」を選択してください。

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

給付奨学金に採用されたあとに書類提出が必要です。

書類を提出し、日本学生支援機構で承認されたら自宅外通学の金額に変更となります。

④-奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込からの支給の停止を希望しますか。

はい  いいえ

「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。

○ 2024年4月1日時点で休学中であるため(2024年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続きが必要です)。

○ 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため

○ その他

あなたは、2024年4月以降、以下の支給を受ける予定がありますか(ハローワークや役からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください)。

2024年4月以降、以下の支給を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。

教育訓練支援給付金【雇用保険法】  
訓練長給付、技能習得手当(受講手当)、寄宿手当【雇用保険法】  
職業訓練受給給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律】  
高等職業訓練促進給付金(ひとり親家庭の親を対象とする給付金)【母子及び父子並びに寡婦福祉法】  
職業転換給付金<訓練手当>【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

○ 支給を受けておらず受ける予定もない

○ 支給を受けている  
支給予定期間 (西暦) (半角数字4桁) 年 月 日 ~ 年 月 日

○ 支給を受ける予定である  
支給予定期間 (西暦) (半角数字4桁) 年 月 日 ~ 年 月 日

※申告漏れの場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。

⑤-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1)

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】

区分	大学				短期大学・専修学校(専門課程)				高等専門学校(4・5年生、専攻科)			
	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立
月額の種類	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額以外の月額	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

※最高月額を利用するためには、併用貸与の算定基準を満たしていることが必要です。それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は、「貸与奨学金案内」を参照してください。

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。

貸与月額○○円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2024年4月となりません(入学年度によりません)。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます(入学年度によりません)。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上記の最高月額以外の月額から選択してください。

「いいえ」に☑

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

第一種奨学金申請者記入

給付

給付貸与  
両方

第一種奨学金申請者記入

第二種奨学金申請者記入

# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額

大学				短期大学・専修学校(専門課程)				高等専門学校(4・5年生、専攻科)			
国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円				3万円			

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制限はありません。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。  
 (注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。  
 (2) 所得連動返還方式 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。  
 「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。  
 奨学生番号(半角数字)

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。  
 (注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。 再貸与の制度を表示 同意します。

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。  
 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。  
 2万円 3万円 4万円 5万円 6万円 7万円  
 8万円 9万円 10万円 11万円 12万円

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。  
 「はい」と答えた人かつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。  
 あなたは(医・歯は4万円、薬・獣医は2万円増)を希望しますか。  
4万円 2万円 希望しない

※貸与月額について確認してください。  
 あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるかどうか、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家財情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

(3) あなたは毎月分から貸与を希望しますか。  
 (注) 奨学生採用後は貸与時期の変更はできません。  
 (3) 西暦(半角数字4桁) 年 月

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。  
 (1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。  
 1年次に入学した人および編入の人のみ希望することができます。  
 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。  
10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。  
 (1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。  
①利率固定方式 ②利率見直し方式

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「貸与奨学金案内」を確認のうえ、のうえ、どちらかを選択してください。  
 過去に同じ学種で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」と選択してください。  
 第一種奨学金の再貸与制度とは？  
 過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学種(大学、短期大学、高等専門学校、専修学校)で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。詳しくは「貸与奨学金案内」を参照してください。  
 第一種奨学金貸与情報画面上の(3)で「はい」と答えた人に表示されます。  
 併用貸与を希望した人に表示されます。  
 奨学金案内を  
 を選択した人に表示されます。  
 併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。  
 一次採用(春)で申込みする人は、2024年4月～9月のいずれかの月を入力してください。  
 二次採用(秋)では、10月～2025年3月のいずれかの月を入力してください。次の段階3.で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2024年4月(一次採用(秋)では10月)を入力してください。  
 入学時特別増額貸与奨学金は、入学した学校において1回しか受けることができません。そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。  
 編入の人が編入学校に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は、「いいえ」を選択して学校へ申し出ていただきます。  
 なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利です。「貸与奨学金案内」を参照してください。  
 返還時の利率の算定方法を選択する項目です。詳しくは「貸与奨学金案内」を参照してください。

2024年4月と記入

STEP4  
⑥-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。  
 1. 西暦(半角数字4桁) 年 月 日 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校(本科)を卒業しましたか。  
 ※ここでの「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校(第1学年から第3学年まで)又は専修学校の高等課程(修業年限が3年以上のもの)を含みます(インターナショナルスクールや在外教育施設等を含みません)。  
 ※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。  
 「はい」と答えた人にお問します。  
 あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。  
 西暦(半角数字4桁) 年 月 日

「いいえ」と答えた人にお問します。  
 あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。  
高等学校卒業程度認定試験合格者  
その他(インターナショナルスクール、在外教育施設等)  
 「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお問します。  
 あなたは高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。  
はい いいえ

「その他」と答えた人にお問します。  
 あなたが卒業または修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業または修了した年月を記入してください。  
 西暦(半角数字4桁) 年 月 日

3. [給付] あなたはこれまでに、日本学生支援機構の[貸付奨学金](原則、返還不要)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを除く)  
はい いいえ

[貸与] あなたはこれまでに、「第二種奨学金申請情報」で入力した他に日本学生支援機構の[貸与奨学金](第一種奨学金)(原則、要返還)を受けていますか(現在貸与が終了しているものを除く)  
はい いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。  
 ※第一種奨学金を利用している人が貸付奨学金を受給する場合、貸与が調整されます。  
 ※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。  
 ※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

半角数字	奨学生番号	削除	追加
1	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
例	813 04 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	2 820 08 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	3 811 01 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	4 816 02 999999	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>
	5	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="追加"/>

※第二種奨学金の貸与について確認してください。  
 あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借り続ける期間が制限される場合があります。  
確認しました

「5年を経過した後も毎年高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。  
 (例) -16歳になる年度:2014年度  
 -16歳になる年度から5年経過⇒2019年4月1日以降  
 -2019年度、2020年度に高等学校卒業程度認定試験受験(不合格)  
 -2021年度に高等学校卒業程度認定試験受験(合格)  
 ※2019年度又は2020年度に受験していない場合、「5年を経過した後も毎年高等学校卒業程度認定試験を受験していた」に該当しないため、申し込むことができます。

最終学歴、卒業年月、日本学生支援機構の奨学金を受けたことがあるかなどを記入

4ページの②-奨学金申込情報に入力した番号は入力しないでください。  
 ・採用取消となった奨学生番号は入力しないでください。  
 ・高校在学中に、都道府県等(日本学生支援機構及び日本育英会以外)から奨学金の貸与を受けていた場合、入力の必要はありません(高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました)。

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き



# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

給付

給付貸与両方

給付奨学金のみを希望する人は⑦-保証制度の入力は必要ありません。

STEPS

⑦-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

機関保証  
 機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

人的保証  
 人的保証制度は、連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。  
 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

併願又は併用で申し込み(②-奨学金申込情報で次の選択肢を選択した場合)、  
 (2) 第1希望: 第一種奨学金 第2希望: 第二種奨学金  
 (4) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金  
 (5) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金  
 (6) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金  
 第3希望: 第二種奨学金  
 (7) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第二種奨学金  
 かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

▼ 1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。  
 所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

● 機関保証  
 機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

○ 人的保証  
 人的保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

⑧-貸与奨学金返還留約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。  
 (2) あなたの性別を選択してください。(任意) (2) ○男 ○女 ○回答たくない  
 (3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定  
 (4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) 郵便番号(半角数字)       住所検索

住所1(自動入力)   
 住所2(番地以降)(全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。  
 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。  
 (ハイフンなし・半角数字)        
 携帯電話の電話番号を記入してください。(ハイフンなし・半角数字)

住所の入力例

(郵便番号) 162-9999 住所検索 ←押下

注意!  
 表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本町 1丁目  
 ○東京都 新宿区 市谷本町 2丁目  
 ○東京都 新宿区 市谷本町 3丁目

住所2(番地以降) 99-9 機構ハイツ 505

注意!  
 ※番地以降を全て入力する場合は、ハイフン、あるとあるの画面を参照してください。  
 ※番地以降のない場合は、(ド)を入力してください。  
 ※住所2欄には、住所1と併記して入力してください。  
 ※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡のとれる国内の住所等を入力してください。

⑦-保証制度で「機関保証」を選択した人

2. 本人以外の連絡先について  
 あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名 姓  名   
 (2) その生年月日 (2) 年 月 日  
 (3) あなたの続柄 (3)   
 (4) その住所 (4) 郵便番号       住所検索

住所1(自動入力)   
 住所2(番地以降)(全角文字)

(5) その電話番号  
 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。  
 (ハイフンなし・半角数字)        
 その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字)

⑧-保証制度で「人的保証」を選択した人

2. 連帯保証人と保証人について  
 あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。  
 ・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入力してください。  
 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。  
 ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名 (a) 漢字(全角5文字以内) 姓  名   
 カナ(全角15文字以内)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日  
 (c) あなたの続柄 未成年後身   
 (d) その住所  
 ・連帯保証人の印鑑登録証明書(住所)を提出している住所を入力してください。  
 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。  
 (d) 郵便番号(半角数字)       住所検索

住所1(自動入力)   
 住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号  
 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。  
 (ハイフンなし・半角数字)        
 その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)   
 勤務先電話番号 (ハイフンなし・半角数字)        
 ※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。  無職

保証制度を選択する

人的保証を選択する場合は連帯保証人・保証人の選任条件を確認し、必ず本人に同意を得てください。

機関保証を選択する場合は人的保証への変更はできません。

奨学金案内から保証制度を確認し、選択してください。

あなたが現在住んでいる住所を記入

※下宿している場合はアパートの号室まで正確に記入

機関保証選択者記入欄

人的保証選択者記入欄

⑦-保証制度にて「機関保証」を選択した場合に表示されます。  
 機関保証を選択した人は、あなた(本人)以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合があります。ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を明記することがあります。  
 ※注意! (本人以外の連絡先)を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用される選考書類に印字されます。万一、返還留約書に白紙してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

⑧-保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。  
 連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。

※⑩ページの「住所の入力例」参照  
 ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。  
 無職の場合は何も入力しないでください。

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

給付

給付貸与  
両方

# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

①-保証制度で「人的保証」を選択した人(続き)

↓

(2) 保証人について入力してください。

・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。  
・未成年者等保証能力がない人は認められません。  
・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名 (a) 漢字(全角5文字以内) 姓 名  
(b) カナ(全角15文字以内) カナ

(b) その生年月日 (b) 年 月 日 日生

(c) あなたの続柄 (c) 続柄

(d) その住所 (d) 住所

※印鑑登録証明書には住所が記載されています。  
※住所1(自動入力) 住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号  
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。  
ハイファンなし(半角数字) 携帯電話の電話番号 (ハイファンなし(半角数字))

(f) その勤務先 (f) (全角文字) 勤務先電話番号 (ハイファンなし(半角数字))

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。  無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計です。 (g)  はい  いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日(①-あなたの氏名・誓約情報)で入力した年月日)時点での年齢を元に判定を行います。

人的保証選択者  
記入欄

あなたからみた続柄です。  
(例) おじおば  
※以下の場合は、「その他(知人等)」と記入(誓約)してください。  
・離婚により親権を失った父母  
・養子縁組により親権を失った本人の実父母・配偶者の父母  
・(父(母))や「その他(4親等以内)」を選択しないでください。

※⑩ページの「住所の入力欄」参照  
固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農家」と記入してください。  
無職の場合は何も入力しないでください。

**連帯保証人・保証人について**

①-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。  
保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「換金の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります(連帯保証人には適用されません)。  
詳しくは、「貸与奨学金案内」を参照してください。  
また、選任した連帯保証人・保証人が職構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、⑩-⑪ページの(1)、(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらためて条件に合致する別の人物を選任しなおしてください。条件に合致しない場合は、①-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならぬ書類(返還誓約書)には、スカラネットを入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

STEP7  
⑨-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とするですか。  はい  いいえ

「はい」と答えた人は、おてはまるものを選択してください。

○児童養護施設入所者等 ○児童自立支援施設入所者等  
○児童心理支援施設入所者等 ○自立援助ホーム入所者等  
○里親に養育されている(いた)人 ○ファミリーホームで養育されている(いた)人

2. 生計維持者(原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要で(離婚等により完全に別生計の人を除く)。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1)  1人

(2) 生計維持者①(父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)

(a) あなたの続柄 (a) 続柄

(b) 生計維持者①の氏名 (b) 漢字(全角5文字以内) 姓 名  
(c) カナ(全角15文字以内) カナ

(c) 生計維持者①の住所 (c) 郵便番号(半角数字) 住所検索  
住所1(自動入力) 住所2(番地以降)(全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。  
(注1)「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。  
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。  
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている  
 これから準備する  
 その他

(f) 生計維持者①は2022年1月2日以降に転職しましたか。  
※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。  
 はい  いいえ

「はい」を選択した場合は、マイナンバーで連携した情報(2022年1月~2022年12月の収入情報)にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。

第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。  
※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1~2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。  
 上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。

直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。  
※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

(g) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。  はい  いいえ

(h) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。  はい  いいえ

(3) 生計維持者②(父、母など)

(a) あなたの続柄 (a) 続柄

(b) 生計維持者②の氏名 (b) 漢字(全角5文字以内) 姓 名  
(c) カナ(全角15文字以内) カナ

(c) 生計維持者②の住所 (c) 郵便番号(半角数字) 住所検索  
住所1(自動入力) 住所2(番地以降)(全角文字)

(d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日 日生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。  
(注1)「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。  
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。  
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている  
 これから準備する  
 その他

生計維持者①(父か母)の  
情報を記入

生計維持者②(父か母)の  
情報を記入

※生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」12~13ページを確認してください。  
生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母(父母ともいる場合2人とも)としています。無職の場合でも、生計維持者として入力する必要がある場合があります。  
離婚後に父母が再婚(事実婚含む)している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

二次採用(税)で申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。

二次採用(税)で申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。

父母のうち(2)生計維持者①に入力した人ではない人を、必ず入力してください。定期採用の申込者は、ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。  
※一人親の場合は(3)の入力は不要です。  
※父母ともいる場合で代わって生計を維持している人がいるときは(2)に入力(3)の入力は不要です。

離婚後に父母が再婚(事実婚含む)している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「給付奨学金案内」23ページを参照しながら、生計維持者②の本名を全角で入力してください。

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

後の手続き

給付

給付貸与両方

# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

申込手順等  
スカラネット入力下書き用紙  
採用後の手続き

(f) 生計維持者②は2022年1月2日以降に転職しましたか。  
※転職している場合でも、減取していない場合は、「いいえ」を選択してください。  
○はい ○いいえ

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報(2022年1月~2022年12月の収入情報)にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。

○第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。  
※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1~2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。  
□上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。

○直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。  
※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

(g) 生計維持者②は2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 ○はい ○いいえ

(h) 生計維持者②は2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 ○はい ○いいえ

生計維持者②(父か母)の情報を記入

情報を入力してください。

該当する場合は、入力してください。

3. あなたの生計維持者が扶養している親族(あなたを含む)の人数を入力してください。

※以下の両方の条件を満たす親族の人数を入力してください。

- あなたの生計維持者が税法上扶養していること
1. の生計維持者より年下であること

(1) 2022年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族(あなたを含む)の人数を入力してください。  人

(2) 2023年12月31日時点で、あなたの生計維持者が扶養している親族(あなたを含む)の人数を入力してください。  人

4. あなたと生計維持者(原則父母)の資産の合計額は2,000万円未満(生計維持者が1人の場合は1,250万円未満)ですか。  
※対象となる資産の範囲: 現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額(不動産は対象としない)。  
○はい ○いいえ

5. あなたと生計維持者(原則父母)の資産の額をそれぞれ入力してください。(1万円未満切り捨て)(半角数字)

あなた	<input type="text"/> 万円
生計維持者①	<input type="text"/> 万円
生計維持者②	<input type="text"/> 万円
合計	<input type="text"/> 万円

◆一人親家庭

6. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。

○父又は母と死別した。  
○父母の離婚等により、父母のいずれかとわたり(本人)は別生計である。  
※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含まれます。  
○父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。  
○その他

◆父母以外

7. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。(複数選択可)

□両親(父母)と死別した。  
□両親(父母)が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。  
□わたし(本人)は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている(納税手続きにおいて、わたしの夫(妻)の扶養に入っている)。  
□その他

二次採用(税)で申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。

二次採用(税)で申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。

「いいえ」を選択した場合は家計基準を満たしていないため採用されません。なお、資産に関する証明書類の提出は不要です。

生計維持者①の職種が「申込者本人」である場合は、この欄の生計維持者①及び②は非活性となります。

⑧-あなたの家族情報の3にて、父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。父母以外の人を生計維持者にした理由として、父母と単に不仲であることは認められません。該当する選択肢が2つ以上あれば全て選択してください。なお、ここでは「生計維持者が父母以外」(1名)となるケースは以下のような場合です。-両親(父母)と死別し、おじ夫婦と生活している ※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方(1名)が「生計維持者」となります。-両親(父母)が生死不明のため、未成年後見人(祖父)と生活している。

◆<共通>-一人親家庭・父母以外  
必要に応じて、上記の事実関係が確認できる証明書類の提出を後日求める場合があります。上記の申告に関連ありませんか。

○はい ○いいえ

事象	証明書類(例)
父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている場合【共通】	-課税証明書(寡婦(夫)控除の適用が分かるもの) -戸籍謄本、抄本 -児童扶養手当証書、受給証明書等
上記の書類を提出できない場合	
父母と死別	-戸籍謄本、抄本 -住民票(死亡記載あり)
父母が離婚	-戸籍謄本、抄本
父母が離婚調停中	-裁判所による係属証明書 -弁護士による報告書
父又は母がDV被害	-自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」
父又は母が生死不明(行方不明)	-自治体や警察署等による「行方不明者届受理証明」
父又は母が意識不明、精神疾患	-主治医による「診断書」
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	-戸籍謄本、抄本 -課税証明書(配偶者控除の適用が分かるもの)
その他の事由	-事実関係を確認できる書類(第三者(機関)の見解等)

◆申込者本人

8. 生計維持者はあなた自身(独立生計者)と入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。

○両親(父母)と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。  
○父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない。  
○わたし(本人)は結婚しており、配偶者等を扶養している。  
○その他

申告いただいた内容について、後日確認させていただく場合があります。上記の申告に関連ありませんか。  
○はい ○いいえ

⑧-あなたの家族情報の3にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合、または父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。生計維持者の考え方については、「給付奨学金案内」12~13ページ、及びJASSOホームページに掲載している「生計維持者について」「生計維持者に係るQ&A」を併せて確認してください。  
JASSO 生計維持者について 検索

⑧-あなたの家族情報の3にて、あなた自身を生計維持者(独立生計者)としている場合にのみ表示されます。あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等だけで生活しているという状況であったとしても、父母がいる場合は、原則父母が生計維持者となります。

STEP8  
⑧-一家庭事情情報  
奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください)。  
注) 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください(学校担当者から確認を行う場合があります)。(20×10)

100文字以上記入

家庭事情情報は、全員入力する必要があります。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

# スカラネット入力下書き用紙(給付のみor給付と貸与両方)

給付

給付貸与  
両方

**注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。**  
入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- あなた本人の預・貯金口座です。
- 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。
- 協約欄のカナ氏名と通帳の口座名義人（カナ）は完全に同一です。
- 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※この通帳は1年以内に記帳できました（休眠口座ではありません）。
- 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。

※ 3か月以内に新設された支店は選択できない場合があります。

**STEP1 奨学金振込口座情報**

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1.  希望します  希望しません  
公金受取口座とは

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2.  銀行等  ゆうちょ銀行

※ 奨学金申請の時点で公金受取口座を登録済であるのみ、「希望します」を選択することができます。ただし、公金受取口座が奨学金の振込に利用できない口座（給付奨学金案内19ページ参照）の場合は、「希望しません」を選択してください。

※ 注意事項を記載していますので、公金受取口座の利用を希望する場合はこのボタンを押して必ず確認してください。

**銀行等を選択した場合**

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読み先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読み先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金口座番号を入力してください。 (3)

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。 (4)

(口座名義人は本人に限ります)

姓  名

姓  名

**ゆうちょ銀行を選択した場合**

記号・番号を入力してください。

1 記号  番号

2 記号  番号

確認のため、再度口座の記号・番号を入力してください。

記号  番号

確認用

4. 口座名義人を入力してください。 (3)

(口座名義人は本人に限ります)

姓  名

姓  名

**4 普通預金 銀行等**

**ゆうちょ銀行**

この番号では振込できません

※ この口座を指定金融機関からの振込みの受取口座として利用される際は、次の口座に指定ください。

【振込】一六八(読み:イチキョウハチ)  
【口座】198【預金種別】普通預金【口座番号】01234567

入力後、「次へ」ボタンを押すと、奨学金振込口座情報確認に進みます。口座情報に誤りがないか確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「給付奨学金案内」26ページを見ながら、画面の指示に従ってください。

振込先口座情報を記入

振込先指定口座は【本人名義】のみ！！  
※本人名義以外の口座は振込できません

口座情報がわかる通帳・キャッシュカード等のコピーを貼りつける

お名前(カナ)  
ジョウヨウ タロウ  
金融機関コード(銀行コード)  
0130  
店番(支店コード)/店名  
006 土浦  
預金種目/口座番号  
普通預金 1234567

常陽銀行の口座番号となります。通帳の表紙のコピーが必要な場合は、適宜本書印刷の上ご利用ください。

常陽 太郎 様  
店番 006 口座番号 1234567

常陽銀行

休眠口座・貯蓄口座  
不可！

振込できない金融機関

信託銀行	農協
外資系銀行	ネットバンク
コンビニ銀行	新生銀行
あおぞら銀行	一部の信用金庫

全員

# 「マイナンバー提出書」の記入方法・提出書類

正確に記入すること！  
書き間違えた場合は、誤った情報を二重線で消し、  
正しい情報を記入すること！  
訂正印は不要、修正液や修正テープは使用不可！

グリーンの封筒に  
申請様式が入っています！

※貸与奨学金の緊急・応急採用、大学院を除く

**「マイナンバー提出書」のセット**

(内容) ・「マイナンバー提出書」  
・【重要】マイナンバー(個人番号)の提出方法  
・「提出用封筒」

学部・短大・専修学校・高等専門学校の方は、スカラネット(インターネット)で奨学金を申し込んだ後、「マイナンバー提出書」によりマイナンバーを提出してください。  
過去に奨学金の申込み等においてマイナンバーを提出したことがある場合も、再度奨学金に申し込みは全員提出する必要があります。

① スカラネット(インターネット)入力  
●この中の「マイナンバー提出書」に印字されている「申込ID」と「パスワード」を使って、スカラネットにより、奨学金を申し込みください。  
●学校から交付される「識別番号(ユーザーID・パスワード)」の入力も必要です。

② マイナンバーの提出(郵送)  
●奨学金申込者本人(学生・生徒)と生計維持者のマイナンバーを提出してください。  
●同封されている「提出用封筒(緑色)」を使用して、郵便局の窓口から、郵便書簡により郵送してください。

マイナンバーの提出期限  
スカラネットで奨学金を申し込んだ後  
**< 1週間以内 >**

※貸与奨学金の緊急採用・応急採用の申込み及び大学院の申込みは、奨学生に適用された後、別の「マイナンバー提出書」によりマイナンバーを提出します。

独立行政法人  
日本学生支援機構  
JASS-IO | <https://www.jasso.go.jp/>

**全員提出** **マイナンバー提出書** [2024年度在学採用]

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿 (機構受付用)

私は、日本学生支援機構(以下、「機構」という)の貸与奨学金、給付奨学金又は貸与奨学金と給付奨学金の両方を申し込みにあたり、私及び生計維持者のマイナンバー(個人番号)並びに機構が指定する番号確認書類等を提出します。また、私及び生計維持者は、機構が「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」及び関連法令で定められた範囲で、各自のマイナンバーを利用すること及び地方税情報を利用すること、並びに機構が取得した各自の個人情報等を私への奨学金に関する案内に利用することに同意するとともに、私が機構から過去に貸与若しくは支給を受けた奨学金又は今後貸与若しくは支給を受ける奨学金についても上記のとおり同意します。

スカラネットからの奨学金申込完了後、チェックしてからマイナンバーを提出してください。

この提出書は、下記申込IDを使ってスカラネットから奨学金の申込みをした方専用です。  
スカラネット申込時に入力した申込IDとマイナンバー提出書の申込IDが相違している場合は再提出が必要になります。

スカラネット(インターネット) 奨学金申込用 【※申込ID・初期パスワードは1人ずつ違います】

申込ID	ZD24299750	初期パスワード	DDFAE3
------	------------	---------	--------

スカラネットで入力後にチェックをして提出

氏名(自署)は、提出必要書類に記載の氏名を各自が記入してください。

フリガナ		記入日(西暦)	20 年 月 日
氏名(自署)			
生年月日	(西暦) 年 月 日		
現住所	〒 都道府県 市区町村		
電話番号(固定)	(携帯)		
学校名			
マイナンバー(個人番号)			

学生本人の記入欄  
現住所は現在住んでいる住所を記入  
学生本人の「番号確認書類」と「身元確認書類」の両方を裏面に貼り付ける

生計維持者欄は、スカラネット申込時に入力した生計維持者自身が記入してください。

フリガナ		続柄	
氏名(自署)			
生年月日	(西暦) 年 月 日		
マイナンバー(個人番号)			

スカラネットで入力する生計維持者と同じ  
生計維持者①の方の「番号確認書類」を裏面に貼り付ける  
**本人の署名が必要**

フリガナ		続柄	
氏名(自署)			
生年月日	(西暦) 年 月 日		
マイナンバー(個人番号)			

スカラネットで入力する生計維持者と同じ  
生計維持者②の方の「番号確認書類」を裏面に貼り付ける  
**本人の署名が必要**

\* 提出いただいたマイナンバー等の書類は、法令等で厳格に管理することが義務付けられています。本機構においても法令等の定めに対応いたします。  
\* マイナンバーを記入後は、本提出書を複製(コピー)しないでください。  
\* 採用されなかった場合等も、本提出書、貼付書類及び同封書類は返却いたしません。本機構が法令等の定めにより廃棄いたします。

全員

# 「マイナンバー提出書」の記入方法・提出書類

## ( 提出必要書類 貼り付け台紙 )

- 同封の「【重要】マイナンバー(個人番号)の提出方法」2ページと下の△注意点を△をお読みのうえ、番号確認書類と身元確認書類を用意してください。
- ホームページからも、マイナンバーの提出方法を確認することができます。  
(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/mynumber/index.html>)

**申込者本人(学生・生徒)**

<b>【番号確認書類】</b> (貼り付け欄) <small>※マイナンバー12桁が分かる面の 鮮明なコピーを貼り付ける。</small> <b>マイナンバーカードの 「うら面」を貼り付ける</b>	<b>【身元確認書類】</b> (貼り付け欄) <b>マイナンバーカードの 「おもて面」を貼り付ける</b>
--	--

**生計維持者①**

**【番号確認書類】**

(貼り付け欄)

※マイナンバー12桁が分かる面の  
鮮明なコピーを貼り付ける。

**マイナンバーカードの  
「うら面」を貼り付ける**

**生計維持者②**

**【番号確認書類】**

(貼り付け欄)

※マイナンバー12桁が分かる面の  
鮮明なコピーを貼り付ける。

**マイナンバーカードの  
「うら面」を貼り付ける**

- △注意点△
- ▶ 使用可能な書類は、同封の「【重要】マイナンバー(個人番号)の提出方法」2ページで確認してください。
  - ▶ カードサイズの書類(マイナンバーカード等)は、鮮明にコピーしたものをカードサイズに切り取り、この提出書の貼り付け欄に貼り付けてください。貼り付け方法は、次のいずれかとしてください。  
 【方法1】テープを使用  
透明テープを左右2辺に貼り付けてください。  
 【方法2】のりを使用  
全面をのり付けし、よく乾かしてから提出用封筒に同封してください。
  - ▶ カードサイズ以外の書類(住民票の写し等)は、A4サイズの紙にコピーしたものをそのまま提出用封筒に同封してください。(切り取ったり、この提出書に貼り付けたりしないでください。)
  - ▶ 身元確認書類を2点提出する場合(「【重要】マイナンバー(個人番号)の提出方法」2ページ④)は、2点ともA4サイズの紙にコピーしたものをそのまま提出用封筒に同封してください。(切り取ったり、この提出書に貼り付けたりしないでください。)

△番号確認書類及び身元確認書類は、この提出書の裏面に貼り付けないでください。

## 【マイナンバーカードを持っている場合】



マイナンバーカードをのコピーを貼り付けてください

## 【マイナンバーカードを持っていない場合】



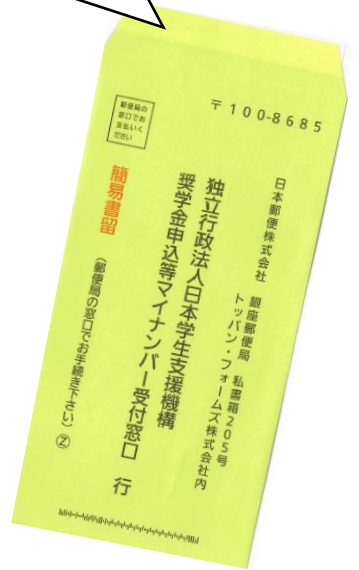
通知カードのコピー  
※住所・氏名等に変更があった場合は不可



個人番号記載の住民票のコピーまたは原本

マイナンバーカードを持っていない場合の身元確認書類は  
マイナンバー提出書セットに同封された案内を確認すること

この専用封筒に入れて  
郵便局窓口で発送する



スカラネット入力後一週間以内に  
必ず日本学生支援機構に送付すること!